

令和6年2月28日

保護者 様

一宮市立西成中学校  
校長 三川 洋生

## 「令和5年度学校評価(保護者)」結果について

日ごろは本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、みだしの件について、保護者アンケートの結果をお知らせいたします。皆様から頂いた声をもとに、来年度も教職員一同、本校の教育活動の改善を図り、生徒や保護者、地域の皆様から一層信頼される学校づくりをめざしてまいります。

保護者の皆様方には、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 令和5年度 保護者アンケート結果(令和5年 12月実施)

		質問内容	令和5年度(%)				令和4年度(%)			
			A	B	C	D	A	B	C	D
		※A：あてはまる B：ほぼあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない								
全般	1	お子さんは、学校が楽しいと言っている。	44.9	40.2	9.9	4.9	41.0	44.3	11.5	3.2
学力	2	お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	16.0	59.5	17.5	6.9	14.9	63.4	17.2	4.4
学力	3	学校は、お子さんに基礎的・基本的内容を確実に習得させようと努めている。	26.2	61.2	8.6	4.0	30.9	57.3	10.0	1.8
生徒指導	4	お子さんは、あいさつができています。	48.4	45.4	5.7	0.5	50.8	42.2	6.2	0.9
生徒指導	5	お子さんは、社会のルールやマナーを身に付けている。	36.8	56.8	5.4	1.0	37.6	56.6	5.1	0.8
人間関係	6	学校が行っている読書活動(朝読書・読み聞かせ等)は、豊かな人間性をはぐくむことに効果的である。	44.2	48.9	4.4	2.5	46.7	45.8	5.9	1.5
環境	7	学校は、いじめや不登校のない環境づくりに努めている。	15.8	64.4	15.1	4.7	20.0	63.5	12.2	4.3
人間関係	8	学校は、子どもや保護者の悩み・相談に親切に応じている。	19.0	63.7	14.6	2.7	23.5	64.6	10.0	1.9
人間関係	9	学校の行事や体験活動は、お子さんの心の成長に役立っている。	54.3	42.0	2.7	1.0	59.5	38.0	1.8	0.8
健康	10	お子さんは、早寝・早起きの習慣が身に付いている。	26.7	37.3	22.7	13.3	25.8	33.9	28.5	11.8
健康	11	お子さんは、朝食をとってから登校している。	78.5	15.8	3.0	2.7	84.6	8.5	3.5	3.4
健康	12	学校は、児童生徒の安全確保に努めている。	31.6	62.7	4.7	1.0	34.1	58.1	6.3	1.5
信頼	13	学校は、家庭や地域の意見や願いを生かした教育活動をすすめている。	19.8	68.9	9.6	1.7	25.2	64.7	8.0	2.2
信頼	14	学校が保護者に出すたよりや文書は適切である。	36.5	54.8	7.2	1.5	42.5	52.2	4.6	0.8
信頼	15	学校のホームページの内容は、適切である。(インターネットを利用して回答してください)	38.3	51.9	3.5	0.2	42.0	48.0	2.7	0.1

(%)

(%)

## 総括

多くの学校行事がコロナ禍以前の活動に戻りつつあり、子どもたちの元気な様子が見られ、活気あふれる雰囲気を感じられるようになりました。これもひとえに、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力があってこそだと、職員一同感謝しております。

アンケート結果について、ほとんどの項目で「A(あてはまる)」「B(ほぼあてはまる)」が80%以上の回答となり、高い割合を占めています。しかし、昨年と比較し、「A(あてはまる)」のポイントが3%~4%減少している項目が見られるため、結果を真摯に受け止め、来年度に向けて改善できるよう努めてまいります。特徴的な点をいくつか挙げます。

### ① 確かな学力を育てる

・「学校・授業が楽しい(楽しいと言っている)。」に対する「A」の割合が約4ポイント増加しています。行事や活動に制約がなくなりつつあり、子どもたちが本来の元気を発揮できるからだと考えられます。

・「授業がよく分かる(分かりやすいと言っている)。」に対する「A」「B」の割合は、75.5%となり、前年度よりも約3ポイント減少しています。より一層の校内現職教育をすすめ、分かりやすい授業の研修を重ねてまいります。場面に応じた適切なグループ活動、全教室に整備された電子黒板と従来の黒板を融合させた効果的な活用方法を探りながら、基本的な学習内容の定着に努めてまいります。

### ② 豊かな心、他人を思いやる心を育てる

・「あいさつができて」「社会のルールやマナーを身に付けている」に対する「A」「B」の割合は、前年度と変わっていません。ご家庭でも変わらず、ご指導いただけていることに、感謝いたします。校内においては、あいさつ運動をより活発にしていき、子どもたちの元気なあいさつの声が響き渡る学校になるよう努めてまいります。

・「学校が行っている読書活動は、豊かな人間性をはぐくむことに効果的である。」に対する「A」「B」の割合が前年度よりも、微増しました。子どもたちの読書離れが叫ばれて久しいですが、読書によって豊かな心が育まれるよう、読み聞かせボランティアのような読書啓発活動を継続してまいります。

### ③ 健康で丈夫な体をつくる

・「お子さんは、早寝・早起きの習慣が身に付いている。」に対する「A」「B」の割合が約4ポイント増加しています。これは、食生活の乱れが改善され、睡眠時間が適切に確保されていることにつながります。心身の成長が著しい中学生時代に、心身を良好に保つための適切なケアの方法が学べるよう、毎月発行される「ほけんだより」の内容充実に努めてまいります。

### ④ 未来に生きる力を育てる

・「学校の行事や体験活動は、お子さんの心の成長に役立っている。」に対する「A」「B」の割合が96.3%となり、高い評価を得ています。特に、毎年夏に実施される「職場体験学習」や、地域の方を講師として呼び出して、講演していただく「地域の方から学ぶ会」など、子どもたちの将来に関わる活動は今後も工夫や改善を図りながら、継続してまいります。

### ⑤ 信頼される学校づくりに努める

・「学校は、いじめや不登校のない環境づくりに努めている。」に対する「A」「B」の割合が約3ポイント減少しています。生活アンケートや生活ノートに自身の気持ちを積極的に記入させたり、スクールカウンセラーや心の教室相談員への相談を促したりするなど、子どもたちが相談しやすい環境づくりを進めてまいります。また、職員が子どもたちの心の変化に気付ける

ようなゆとりある教育課程を工夫する努力を続けてまいります。

今年度も「我ら西中生」「我ら西中教職員」を合言葉に信頼される学校づくりに取り組んできました。来年度も生徒が「学びたい学校」、保護者が「学ばせたい学校」となるように、いただいたご意見を参考にしながらよりよい教育活動を進めていく必要があると考えています。今後も生徒の自己肯定感の達成を促す様々な活動に取り組んでいくつもりです。校区内小学校、家庭、地域との連携を大切に、信頼される学校づくりに努めていきたいと考えております。